

クラスター弾規制に関する国際条約について
－議論の経緯と条約の内容－

松尾 友彦

防衛省防衛政策局国際政策課

1. 条約交渉の発端

- (1) 不発子弾による民間人被害
- (2) NGOの動き

2. 2つのプロセスにおける進行

(1) オスロ・プロセス

(ア) 経緯

- ・ 中核国とNGO中心の議論
- ・ 西欧諸国の動き

(イ) クラスター弾規制の内容

- ・ ほぼ全面規制
- ・ 規制除外基準の考え方

(2) 特定通常兵器使用禁止・制限条約(CCW)

(ア) 経緯

- ・ 主要生産・保有国が参加
- ・ 主要生産・保有国、オスロ中核国、中間層

(イ) クラスター弾規制案の内容

- ・ 「軍事面と人道面のバランス」
- ・ 信頼性の低い弾の広範な規制

3. 今後の見通し

(1) 国際社会の動向

- ・ オスロ条約の実効性
- ・ CCWの信頼性

(2) 我が国の対応